

# ぐんぐん↑↑2024

R7.1.20



第9号 ↑本校HP

## ◇◇謹賀新年！！◇◇

2025年(令和7年)がスタートしています。だいぶ経ちますが、新年明けましておめでとうございます。今はぐっと冷え込んでいますが、例年よりは暖かな年始だったと思います。天気にも恵まれ、穏やかに過ごすことができていると思います。清々しい気持ちで3学期をスタートし、学習を豊かにしていきましょう。

## ◇◇勝負の学期、3学期◇◇

3学期は子ども達にとって勝負の学期です。例えば、6年生だと45日間で卒業し、中学校へと進みます。6年生はどの教科でも新しい内容を学びながらも、これまでの小学校での学習を総復習していきます。中学校に進んだ時に、「えっ!」とか「まずい!」と思わずに、スムーズに中学校の学習内容につないでいけるようになるための準備をし、学習内容の確実な定着をしておく必要があります。6年生にとっては、短い期間の中で取りこぼしや苦手をなくす努力が必要な学期です。それは当然、5年生以下のみなさんにとっても次の学年への準備と学習内容の確実な定着という意味では全く同じです。5年生以下のみなさんも新年度にいいスタートを切るための学期にしないといけません。



生活面も学習面も「まとめの時期」です。そのためにも、3学期はしっかり目標を決めることが大事です。「△年生のうちに、〇〇は絶対にできるようになる!」、「算数の〇〇はすらすら解けるようにする!」、「△年生までの漢字はいつでも使えるようになる!」と具体的に目標(ゴール)を決め、そこにたどりつくための努力をしていきましょう。「はじめが肝心」です。

## ◇◇学年別の勉強のコツ◇◇



ここでは各学年の学習の特徴やポイントを国語算数中心に改めて紹介します。これを参考に子ども達の学習の様子や内容を一緒に確認していき、今こそどかんとパワーアップしてほしいです。

### <国語>

ひらがなやカタカナをすらすら正しく使えるようにマスターすることです。それに1年生では80字、2年生では160字ある漢字も同様です。繰り返し書くのは大変だと感じやすいですが、文章で書いたり、成り立ちと一緒に覚えたりと学習の中で楽しく取り組むといいです。

文章読解のポイントは、「だれが、いつ、どこで、何を、なぜ、どのように」の5W1Hをおさえながら、音読をすると、内容理解が進みます。

### <算数>

算数では、「繰り上がり」「繰り下がり」「筆算」「九九」といった、この先の計算の基礎となる部分を学習します。具体物を使うなどして、頭の中でイメージして計算をすると分かりやすいです。九九や簡単な計算はリズムで覚えてしまってもいいです。ただ、九九や計算はできても、文章問題になるとできなくなる子も多いです。これは、読解力やイメージする力でもあります。日頃の読書を充実させて文章を理解する力を養いましょう。

## 一・二年生

→低学年は、基本的な授業への構え、学校や家庭での学習習慣を身に付ける大切な時期です。「先生の話聞く」「ノートは後で見分かりやすいように書く」、「帰ったら学習をする」などの習慣を低学年のうちに身に付けると勉強に対して抵抗感が低くなり、自分から学習にむかえるようになります。

## 三・四年生

### <国語>

内容が少しずつ難しくなります。3, 4年生で学習する漢字は402字とボリュームがあります。文章問題も低学年よりも長く複雑になります。漢字と読解と両方の力を育てるため、中学年までに安定した読書習慣を身に付けます。

「たくさんの文字、言葉に触れる」ことが大切です。また、学習した漢字や言葉はどんどん使い、書き慣れてほしいです。パソコン入力にも使うローマ字も3年生で初めて出てきます。

### <算数>

3, 4年生ではわり算や分数、小数、角度といった新しい考え方が登場します。つまづきやすい内容です。日常の場面(食事等)から問題に置き換えて考えていきます。コンパスや分度器など道具が正しく使える必要があります。

授業のノートに自分の考えや友達の考えなどをたくさん書くことができるといいです。分かりやすく書いて、考えを比べたりまとめたりして、次の授業に生かすようにします。

→中学年では、学校生活に慣れてきた半面、理科、社会、総合的な学習の時間、外国語活動など新しい学習が始まり、最初のうちは子ども達も戸惑いやすいです。どれも経験や体験が学びに結びつきやすいので、1つ1つの学習活動を大切にしてほしいです。また、子ども達自身の興味関心が様々になるので、何か興味があればどんどん取り組ませてみましょう。何かに熱中して取り組むことで自身の学習の調整力や粘り強く取り組む力を育てることにつながります。

## 五・六年生

### <国語>

中学校を見すえて学習内容が複雑化します。文章問題では抽象的な表現や説明を求められるなど、より一層読解力が必要です。単純に文章の量が多いので、文章をすらすら読むことが求められます。要約や読解では文章全体を素早く理解し、ポイントを見つけることが大切です。普段から文字の多い本や多様な種類の本の読書に慣れておくことが重要です。

漢字は2年間で384字を新たに学習します。これまでも含め漢字 1026 字を使えるようになります。社会科の都道府県の漢字も覚えましょう。

### <算数>

分数と小数の四則計算(+・-・×・÷)、図形、立体、面積、体積、比例・反比例、速さ、割合、平均などを学習します。特に、分数の計算や割合はつまづきやすい内容です。ここにつながる過年度の学習内容の復習をすると理解が進みます。

図形や立体などはその特徴を覚え、計算に必要な公式をいつでも使えるために、とにかく問題をこなしてほしいです。問題になれることが一番の近道です。宿題だけでなく、家庭での学習の充実(量も質も)が大切です。このような学習の習慣が中学校で必ず役に立ちます。

→高学年では、低学年から中学年と学んできた内容をさらに発展させ、中学校の準備段階となるような学習をします。この時期に小学校での内容をどれだけマスターできるかがこの後の学習を左右します。中学生、高校生となった時に、「ああ小学校の時にちゃんと勉強しておけばよかった!」と後悔しないでいように、どの教科もどの内容もこの時期を使って復習を中心におさえていくようにさせましょう。また、5年生から外国語活動が「外国語」として教科になり、英語での話す聞く書く読むの基本を行います。中学校の英語につながるように、基本的な言い回しや単語を覚えるようにしていきます。

今年度も残すところ3学期のみとなりました。週末 1/23(木)には、全学年で学習の定着状況を図るための「CRT学力テスト」を行います。このテストをうまく使い、今の学年で学習したことが身に付いているかどうか、本当に分かっているかどうか、自分の力として使えるようになっているかどうかを確かめます。もし、気になるところが見つかった時は、今の学年のうちにしっかりと復習するように声をかけてください。